

岡山大学のニュース&トピックスおよび最新情報は岡山大学のホームページからご覧いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp>

9 September

9日 教育改善について教職員、学生が討議する本年度の全学教員研修「桃太郎フォーラム」を実施

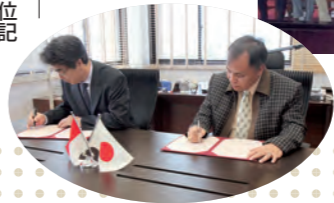
15日 定例記者発表を開催

16日 東京で「卒業生フオロアツプセミナー」を開催

16日 「本学・フエ大学院特別コース」第5期生8人の入学式をベトナム・フエ大学で挙



26日 インドネシア・マナド国立大学と大学間交流協定を締結



30日 平成23年度秋季学位記授与式を挙

30日 医歯薬学総合研究科の上原孝教授が日本学術振興会から本年度科学研究費補助金の配分審査において「有意義な審査意見を付した審査委員」として表彰される

10 October

11日 平成23年度秋季大学院入学式を挙



22日 「岡山大学ホームカミングイベント2011」を開催

22日 岡山大学留学生同窓会設立記念式典および第1回総会を国際交流会館で開催



10 November

22日 池田家文庫絵巻展「江戸時代の巨大手描き絵巻―国絵回復元!」(附属図書館など主催)を岡山市デジタルミュージアム(同市北区駅元町)で開催

23日 陸上競技部が第29回全日本大学女子駅伝に初出場

25日 定例記者発表を開催

11 November

2日 「岡山大学知恵の見本市2011」を創立五十周年記念館で開催



2日 医学部・歯学部が献体への協力者の法要を挙

3~5日 岡山大学祭(津島祭)を津島地区で開催



6日 「岡山大学ホームカミングイベント2011」の協賛イベントとして、創立五十周年記念館でテレビ番組の公開収録を実施

7日 岡山大学公式ツイッター運用開始

9日 岡山大学病院 歯科衛生士室の三宅香里さんが岡山市西消防署から人命救助の表彰を受ける



10日 防災に関する講演会を開催

11 November

11日 第3回中国四国男女共同参画シンポジウム「女性研究者が活躍する大学」を支援ネットワークの強化を目指して、岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町)で開催



14日 ノーベル化学賞受賞者の根岸英一名誉博士が学術講演



15日 本学地域総合研究センターAGORAの開所式を挙。キックオフシンポジウムを開催

17日 定例記者発表を開催

19日 中国・洛陽市の河南科技大学と大学間交流協定を締結



19・20日 第35回収穫祭・農学部フェアを開催

26~28日 鹿田祭を鹿田地区で開催



27日 大学院社会文化科学研究科の鐸木道剛准教授がセルビア共和国から「セルビア国旗勲章第三等級章」を受ける

30日 津島地区総合防災訓練(地震訓練及び防火訓練)を実施

12 December

5~8日 大学間協定を結ぶインドネシア・ガジャマダ大学の教員らが大学院環境学研究科で地質調査技術などを研修

7日 岡山大学つるるかむデーを開催

8日 カンボジア教育青少年スポーツ省の視察団が教育学部・教育学研究科などを訪問

研究・臨床成果

■大学院医歯薬学総合研究科の橋本平一教授(免疫学)と理化学研究所の共同研究チームは、抗原提示細胞の一つ樹状細胞が、抗原破壊の役割を持つキラーT細胞へ抗原を提示するために、タンパク質の折り畳みを手助けする分子シャペロン「Hsp90」が必須であることを、その仕組みを分子レベルで明らかにした。[Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America: PNAS] 電子版に掲載。(9月・臨時記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の森田学教授(予防歯科学)のグループは、ラットを使った実験で、かみ合わせの異常がアルツハイマー病の原因といわれるアミロイドβを海馬に増加させることを世界で初めて証明した。米・神経科学雑誌「Neuro Molecular Medicine」に掲載。(9月・定例記者発表)

■資源植物科学研究所の杉本学准教授は、急激な温度変化や宇宙放射線など過酷な環境にある国際宇宙ステーション船外に13カ月間保管した大麦の種子が発芽生育し、品質や遺伝子などに変化がないことを明らかにした。宇宙での食料自給の可能性を示す成果。(9月・定例記者発表)

■大学院自然科学研究科の野原実教授、工藤一貴助教、大学院生の垣谷知美さんらのグループは、鉄と白金を含む新しい高温超伝導体を発見した。超伝導転移温度は絶対温度38ケルビン(摂氏マイナス235度)で、いわゆる鉄系超伝導体の中では3番目に高い。[Journal of the Physical Society of Japan] に発表。(9月・定例記者発表)

■大学院自然科学研究科の野上保之准教授らのグループは、デジタル情報を高速で暗号化し、暗号の安全性の強度を自在に変えられる高密度集積回路(LSI)を開発。独自に確立したアルゴリズム(演算式)を活用した。



情報データの暗号化や認証処理の高速化が可能で、小型パソコンやスマートフォン(多機能携帯電話)への搭載が期待される。(10月・定例記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科の森田学教授のグループは、口臭の原因である硫化水素が歯を支える骨(歯槽骨)を溶かす口腔細菌由来の毒素に作用し、その働きを相対的に増強することを世界で初めて証明した。米・歯周病専門雑誌「Journal of Periodontology」電子版に掲載。(10月・定例記者発表)

■大学院医歯薬学総合研究科(薬)の三好伸一教授らは本学インド感染症共同研究センター、インド国立コレラおよび腸管感染症研究所などと共同でコルカタ市の1~5歳児約400人を対象に、プロバイオティクとしての乳酸菌飲料の下痢症予防効果について調査。計24週間の健康観察で、乳酸菌飲料を摂取した場合、下痢の発症率が14%抑えられたことが分かった。(11月・定例記者発表)

■大学院環境学研究科の高口豊准教授らのグループは独自開発したカーボンナノチューブ光触媒を用い、可視光による水の光分解で世界最高の水素発生効率(31%)を達成した。カーボンナノチューブの工業利用と水素製造の実用化研究に弾みが付くと期待される。「Advanced Materials」に掲載。(11月・定例記者発表)

